

もったいない! 未来のために
母の視点で **よりも** で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員 西村久子 県政報告

第57号

発行 西村久子

彦根市甲崎町
TEL・FAX 43-4700

Eメール hisako@country-farm.net
ブログ http://nishimura-hisako.net/



今日よりも明日

和歌山県で開催された第70回国民体育大会に参加した。開会式の前夜、大会役員懇談会の中で、「日本スポーツグランプリ表彰」があった。その中で、満101才の山口県出身の女性が、自ら出席して表彰をお受けになった。背筋はぴんと伸びかかしくとしておいででスーツがよくお似合い、100歳を超えた方とはとても思えない。



功績は、膝のリハビリを目的に80歳で水中ウォーキングを行って以降、独学で水泳を始め84歳で日本マスターズ大会に出場、85歳で初の日本記録樹立、88歳で世界マスターズ大会に初出場し銅メダルを獲得、91歳から専門的な指導を受けると、次々と世界記録を樹立し、今も25個のFINA公認世界記録を保持されている。

100歳を過ぎた現在は背泳ぎを専門とし、長・短水路女子1500m自由形で、100歳超の女性として世界初の完泳を達成、百一賀を超えてなお、あくなき向上心で取り組む姿は、日本ばかりかFINA公式サイトでも紹介され、世界的に大きな注目を集めている。・・・その功績をたたえ表彰する・・・というもの。

とにかくすごい。体の故障を治すために取り組まれて以来、自らの努力で今も記録への挑戦、...こういう現実を目の当たりにすると、72歳、頑張らなきゃなあ...と反省しきり。人は高齢になるほど体のあちこちが支障をきたしますが、継続した運動をすることにより、身体・精神共に元気でいられることを学んできました。水と緑いっぱいの滋賀の田舎暮らし、お互いに声かけあいながら、豊かに年を重ねたいものです。

葉枝見橋補修工事に伴う通行規制のお知らせ...近隣の皆様へ

県道柳川能登川線（葉枝見橋）で、橋梁補修工事が行われ通行規制が敷かれます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。通行止め期間においては八幡橋、または愛知川橋（湖岸道路）へ迂回をお願いします。

工事の内容 葉枝見橋の長寿命化対策工事（橋梁補修工）

橋梁の劣化部修繕 橋桁土台の取り換え 防護柵土台を補修 防護柵をアルミ製に交換 照明施設の補修工

施工業者 田中シビルテック株式会社 TEL0749-82-4343 現場代理人080-5761-5492

発注者 滋賀県東近江土木事務所 道路計画課 維持補修担当 TEL0748-22-7736 直通090-7764-1088

葉枝見橋通行規制計画

	平成27年 10月	11月	12月	年末 年始	平成28年 1月	2月	3月	4月	5~6/20
自動車	終日 通行止め	6:30~8:30 片側交互通行 (※1)		年末・ 年始は 警察と 別途協議 (※2)	6:30~8:30 片側交互通行(※1)				9:00~17:00 片側交互通行
		8:30~翌朝6:30 通行止め			8:30~翌朝6:30 通行止め				17:00~翌朝9:00 全面通行可
自転車 歩行者	作業中(8:00~17:00)通行可				作業中(8:00~17:00)通行可			24時間通行可	
	17:00~翌朝8:00通行止め				17:00~翌朝8:00通行止め				

※1... 11月以降、朝の通勤時間帯(6:30~8:30)は、出来る限り片側通行が可能となるよう考えていますが、現場の状況や橋の凍結など危険と判断される場合は通行止めとすることがあります。(1月2月は気温が低下するので通行止めの日が増える見込みです。)

※2... 年末年始の規制については、別途警察と協議して決定します。

9月定例会議代表質問(自民党滋賀県議会議員団)抜粋

ご承知のとおり、琵琶湖大橋有料道路は、県勢の均衡のとれた発展と琵琶湖観光の開発を図るため、昭和39年にまず2車線が開通し、平成8年3月には4車線化され、利用台数の伸びは順調に推移し、平成26年度は年間約1,206万台、一日平均約3万3千台もの通行台数で、琵琶湖大橋有料道路は経営的にも安定した路線となっています。

そのような中、平成25年度に琵琶湖大橋を管理する滋賀県道路公社に対する包括外部監査が実施され「建設有料事業の継続性について慎重かつ早急に議論を重ね、その方針を明確に示していくべきである」との意見が示されました。

一方で、県内11市長から、無料化された場合の維持管理経費に懸念が示され、昨年、滋賀県は学識経験者、行政、経済界および道路利用者団体で構成される「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」を設置し、議論を重ね、それぞれメリット・デメリットが今年の2月にとりまとめられました。

知事は、この研究会のとりまとめや、国、市長会、議会などの意見等を踏まえて、建設有料事業を継続する方針を表明され、先日開催された9月9日の政策・土木交通常任委員会において、県から追加事業の事業費や料金案が提示されました。

民主党政権下で国土交通副大臣として当時のお考えと異なる結果を出されたことは、さぞかし悩まれたこととお察し申し上げます。

今後、議会と議論を深めた上で、11月議会への議案の行程に向けて検討を進められるとのことですが、そこで、以下3点についてお尋ねいたします。

問 まず1点目ですが、今回、料金案が示されましたが、どのような考え方で出された料金設定なのか、お伺いします。

答 今回示しました料金案についての考え方でございますが、料金設定にあたりましては、収支のバランスに配慮しつつ、値下げの考え方に立って検討を行ったところでございます。

具体的には、第6期事業として追加する事業にかかる経費を、工事の工程等から定まる料金徴収期間で償還できるよう、車種により区分したうえで、料金を設定したところです。

料金設定にあたりましては、ETC導入までの回数券割引や、導入後のETC割引による減収額もしっかりと見込んだうえで、現行料金から可能な限り値下げする方針で検討いたしました。

参考	利用料現行普通	200円→150円→ETC	120円
	軽 四	150円→100円→	80円
	大型1	200円→160円→	160円
	大型2	500円→400円→	400円

…「琵琶湖大橋有料継続について」知事にお尋ねします。

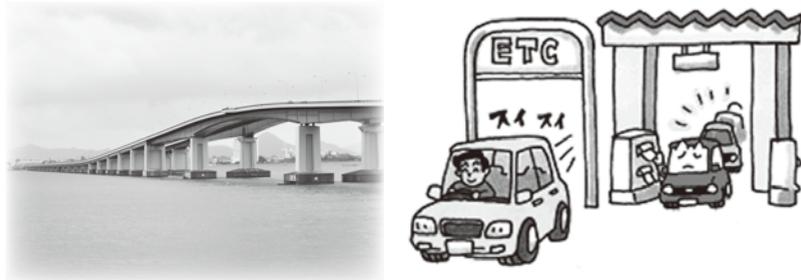
問 次に、今回、ETCを導入されるとのことですが、ETCの導入にはどのような効果があると考えておられるのか、また、ETC導入までに3年かかると聞いていますが、なぜ3年も期間を要するのかお伺いします。

答 ETC導入については、現金や回数券を出すことなく、料金所をスムーズに通過できることから、利用者の料金支払い時のストレス緩和に効果があると考えております。

また、現状において、高速道路におけるETC利用率は90%程度で、今後さらに普及が進むと見込まれることから、ETC割引により、多くの方に割引の恩恵を享受いただけるものと考えています。

なぜETC導入までに3年も要するのか、ということについてでございますが、関係機関との協議を行い、システムや料金ブースなどの設計、工事を実施し、最終調整をするため、3年を見込んでいるところでございます。

利用者の皆さんに、一日も早くご利用いただくために、導入までの期間を少しでも短縮できるよう努めてまいります。



問 最後に、琵琶湖大橋有料道路管理区間でもありながら、今回の追加事業の対象となっていない区間、守山栗東線について、このことは、昨年度の「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」でも、混雑が見込まれるとされていますが、どのように考えておられるのか、お伺いします。

答 今回の追加事業の対象となっていない区間についてですが、まずは、今回、事業追加することとした、真野インターチェンジから水保町中野交差点までの区間の整備について、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

そのうえで、守山栗東線の混雑に対する対策については、今後、交通の流れの変化を踏まえつつ、その事業手法も含めて、検討すべきものと考えております。

(参考)

琵琶湖大橋有料道路……追加事業	84億円
耐震化	16億円
四車線化	大津側47億円 守山側16億円
ETC導入	5億円
H26年度末資産	356億円……未償還額 57億円
	償還準備金 299億円

西村久子事務所

彦根市甲崎町19-1 (稲枝北駐在所より西へ約100m 南側道路沿い)

定例政調会 第1金曜日 午後7時~10時

ご意見を お聞かせください。 Tel 0749-43-2020 Fax 0749-43-4700

西村久子ホームページ (ブログ)

西村久子 活動日記

http://nishimura-hisako.net

